

令和7年度事業報告

1. 実地指導

1) 社会福祉法人コザリオの聖母会 重症心身障害児施設聖母療育園

- 事案概要：新型コロナウイルス感染症のアウトブレイク
- 要請書：令和8年1月13日
- 実施日：令和8年2月19日（木）9:30～16:45
- 報告書：令和8年3月27日 提出
- 支援スタッフ（7名） ※：千葉ネット代表幹事
 - 猪狩 英俊：千葉大学医学部附属病院／感染制御部・部長※〔医師〕
 - 鈴木 由美：独立行政法人国立病院機構 下志津病院／感染症内科・医長※〔医師〕
 - 佐々木優子：国保旭中央病院／感染対策室・看護師長：感染管理特定認定看護師〔看護師〕
 - <同行者>阿部知子：国保旭中央病院／感染対策室：感染管理認定看護師〔看護師〕
 - 谷中 麻里：千葉大学医学部附属病院／感染制御部・感染症看護専門看護師〔看護師〕
 - 里村 秀行：千葉県総合救急災害医療センター／検査部検査科・科部長：感染制御認定臨床微生物検査技師※〔臨床検査技師〕
 - 柴田 幸治：千葉感染制御研究所／代表※〔薬剤師〕

スタッフ人選について

今回の病院は重症心身障害児者の入所施設であることを考慮し、千葉ネットの代表でもある猪狩医師をはじめ、下志津病院の鈴木医師を選任した。また感染制御認定臨床微生物検査技師である県総合救急災害医療センターの里村技師に協力を願った。更に認定看護師からは当該地域における中核となる旭中央病院の佐々木看護師、また千葉大病院の谷中看護師に依頼することとした。なお佐々木看護師からの要望にて同僚である阿部看護師の同行を認めた。

なお、感染予防に関する診療報酬加算は申請していないため連携等に関する医療機関は無かった。

2. 相談対応（メール等による相談応需）

※詳細については別添資料参照

1) 令和5年4月27日 <メール>

- 質問者：東葛辻仲病院（看護師）
- 内容：入院時発熱無しの患者が、術後3日目に38.5℃発熱、咽頭痛、フル・コロナ陰性の患者の管理について
- 回答：5月8日

2) 令和7年7月17日 <メール>

- 質問者：柏の葉北総病院（薬剤師）
- 内容：入院患者の喀痰培養で *S.marcescens* でカルバペネム耐性（CRE）を検出。検査結果前に死亡。同室患者等の管理対応について
- 回答：7月24日

3) 令和8年2月18日<メール>

- 質問者：三橋明生病院（看護師）
- 内容：ノロウイルス感染症患者の解除日について
- 回答：2月22日

4) 令和8年2月26日<メール>

- 質問者：新八街総合病院（看護師）
- 内容：MRSAの入院時スクリーニングについて
- 回答：3月6日

5) 令和8年3月3日<メール>

- 質問者：薬園台リハビリテーション病院（看護師）
- 内容：新型コロナウイルス感染症のゾーニングについて
- 回答：3月6日

3. 研修会開催

1) 第1回研修会

日時：令和7年10月25日（土） 14:00～16:50

会場：千葉大学医学部附属病院ガーネットホール

内容：『災害時の感染対策を考える』

第1部：第1部 疥癬対策について

座長：松田典子先生／松戸市立総合医療センター 感染管理認定看護師

演題「疥癬を早期に発見するために～病院での取り組み～」

谷口弘美先生／特定医療法人財団 松圓会 東葛クリニック病院

看護部長・感染管理認定看護師

第2部：DICTについて

座長：浅野裕一朗先生／松戸市立総合医療センター 感染症内科

講演1「災害医療支援派遣隊員からみた被災地での感染に関わる問題点」

八木雅幸先生／松戸市立総合医療センター 救急科部長

講演2「災害から学ぶこれからの感染対策～行政・福祉・医療・地域の視点から～」

山本夏男先生／仙台市若林区 保健福祉センター 次長

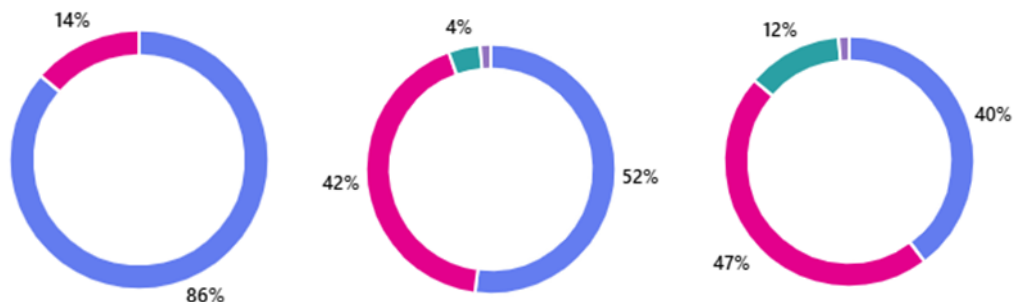
参加者：99人

参加者アンケートから

講演1:疥癬を早期に発見するために～病院での取り組み～

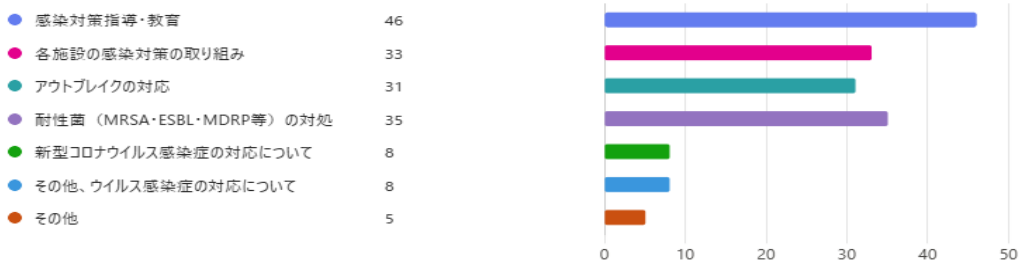
講演2:災害医療支援派遣隊員からみた被災地での感染に関わる問題点

講演3:災害から学ぶこれからの感染対策～行政・福祉・医療・地域の視点から～



●:参考になった ●:ある程度参考になった ●:あまり参考にならなかった ●:参考にならなかった
●:その他

今後の企画として取り上げてほしい研修内容



- ハイブリッドでの参加があるといいです
- 日本での災害時の実際の困ったこと、病院での細かな感染対策を具体的に知りたいです。千葉県での行政と病院の連携や対策について現在どのように動く予定なのか、どの職種でもわかるようにまとまった情報を知りたいです。
- 災害時の感染対策の実際に関する話を聞くことができて、とても参考になりました。ありがとうございました。
- 初めて参加しました。もしかしたら案内にあったかもしれませんが、会場入り口までの案内があると、助かります。また自車の場合の、駐車場・駐車券等もあると不安が少なくてすみます。研修会は会場内の空調等もよくて、聞きやすかったです。
- 毎回良い研修会の機会を提供くださりありがとうございます。大変勉強になり助かっております。
- 企画が良いので、これからも継続を。

2) 第2回研修会

日時: 令和8年2月21日(土) 14:00～16:30

会場: ロイヤルパインズホテル千葉 4F 天平

内容: 『リプレ集会』

第1部: リプレ集会

- 座長: 1) 菅谷美喜先生/千葉市立青葉病院感染対策室・感染管理認定看護師
 2) 岩間暁子先生/君津中央病院臨床検査科・科長
 3) 橋本麻子先生/国立がん研究センター東病院感染制御室・副看護師長
 感染管理認定看護師・感染症看護専門看護師

発表 1) 「CLABSI 発生率減少に向けての取り組み」

古谷直子先生：亀田総合病院・地域感染症疫学・予防センター副センター長・
感染管理認定看護師

発表 2) 「NICU・GCU で検出された MRSA に対する分子疫学解析を用いた院内感
染状況の調査」

金剛寺亜吏先生：東邦大学医療センター佐倉病院感染対策室 臨床検査技師

発表 3) 「Candida auris が検出された患者の感染対策に関する取り組み」

永井友香先生：亀田総合病院・地域感染症疫学・予防センターICN 主任看護師

発表 4) 「CRE 検出患者数とシンクの培養結果から見る清掃の重要性について」

漆原節先生：千葉大学医学部附属病院看護部・感染管理認定看護師

発表 5) 「水道シンクの 簡便な消毒方法導入による 薬剤耐性アシネトバクター
新規発生動向調査」

中村翔一先生：順天堂大学医学部附属浦安病院 医療安全推進センター
感染対策室・感染症看護専門看護師

発表 6) 「院内清掃の変化が Clostridioides difficile 検出状況に与えた影響」

大塚モエミ先生：千葉県がんセンター 感染管理部
感染管理認定看護師・感染症看護専門看護師

発表 7) 「当院における職員の抗体検査結果の経年的な変化について」

阿内剛先生：東千葉メディカルセンター看護部 看護師長 感染管理認定看護師

発表 8) 「ICT による多角的手指衛生推進活動」

平松玉江先生：国際医療福祉大学成田病院 感染制御部 副看護部長

発表 9) 「ICT リンクナースによる病棟看護師の行動変容につなげるための取り組み」

堀田知子先生：順天堂大学医学部附属浦安病院 看護部 看護師

第 2 部：特別講演

座長：瀧口恭男先生：千葉市立青葉病院 呼吸器内科 統括部長

特別講演「チームで学ぶ、感染症診療の原則と抗菌薬適正使用」

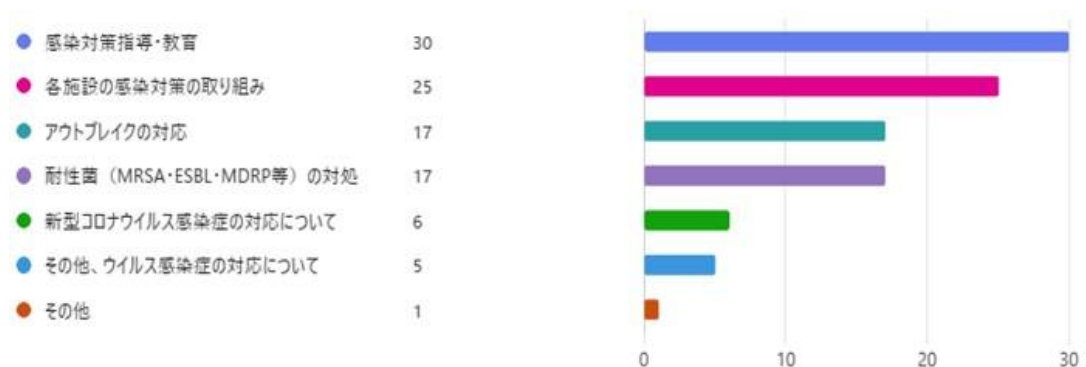
演者：細川直登先生：亀田総合病院・感染症内科部長

地域感染症疫学・予防センターセンター長

参加者：86 人

研修会後アンケートから

今後の企画として取り上げてほしい研修内容



- このような企画、大変ありがたいです。環境感染学会に参加しましたが、本日の演題を全て聴講する事が出来ませんでした。

- 資料に書き込みしたいので、ケータイで読み込むのもいいが、紙でいただけると嬉しいです。
- いつもありがとうございます。
- 学びになりました。ありがとうございました。
- 毎回、良い研修課題を取り上げていただきありがとうございます。

4. 活動支援

【各部会】

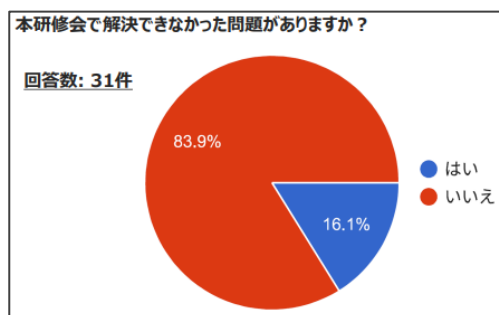
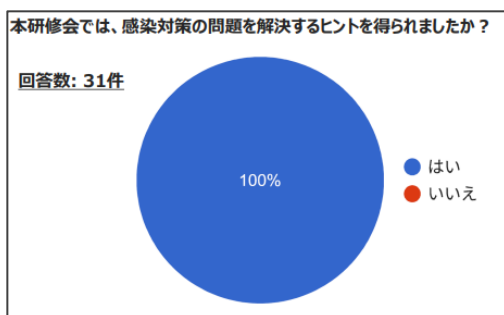
1) 看護師部会

◇ 感染管理認定看護師を中心に感染管理実践に関する知識とスキルの向上を図り、地域における感染管理の連携を目指し活動している

◇ 研修会の開催

令和7年度 CHI-IC-net 研修会

- 開催日：2025年11月8日（土） 14:00～16:00
- 目的：地域の医療機関における感染管理の推進や質の向上に貢献する
- 対象者：千葉県内の医療機関に勤務し、感染管理に携わっている医療従事者（看護職）
- 会場：千葉大学附属病院 セミナー室3
- テーマ：一緒に考えよう！ 薬剤耐性菌対策
- 講師：平松和真氏／船橋中央病院 感染管理認定看護師
講演内容「標準予防策について」
- 方法：講義で薬剤耐性菌の基本と標準予防策、感染経路別予防策について学んだ後、自施設の対策を見直し、改善の糸口を見つけるグループワークを行った。
(1グループ参加者4～5名・ICN2～3名程度)
- 参加状況：計66名…研修参加者37名（うちグループワーク参加者35名）
ICN：29名（うちファシリテーター22名）
- 開催結果（参加者アンケート結果より 回答率88.6%）



今後、当研修会で取上げてほしいテーマがあれば教えてください。

- ① 触るとどれだけ移るか、触れた所、感染経路での菌の流れを画像等で明確に知りたい。
- ② グループワーク時に似通った部署で分けるともっと問題が見え、解決法も見

えてくると思う。

- ③ 感冒が流行った時の対応（インフル、コロナ以外）。
- ④ SSI を予防する創傷処置の最新情報。
- ⑤ マニュアルを身近なものにしたい。
- ⑥ 新生児ケアにおける感染管理。
- ⑦ ノロ対策について。
- ⑧ 面会対応など。

2) 手指衛生部会

SAVE LIVES Clean Your Hands CHIBA

- 参加施設：16 施設

千葉大学医学部附属病院、日本医科大学千葉北総病院、順天堂大学浦安病院、
慈恵医科大学柏病院、国立病院機構下志津病院、千葉県立こども病院、
成田日本赤十字病院、東千葉メディカルセンター、君津中央病院、
船橋市立医療センター、船橋二和病院、東葛病院、国立がんセンター東病院、
東京ベイ浦安市川医療センター、千葉県立循環器病センター、
野田総合病院(小張総合病院)、

- 会議のみのオブザーバー参加

国保旭中央病院、東京歯科大市川総合病院、国立病院機構千葉東病院、
国立病院機構下総医療センター、玄々堂君津病院 等

◇ オンライン会議を 3 回開催

第 1 回 R7 年 6/9 (月) 5 月世界手指衛生の日キャンペーン企画共有

第 2 回 R7 年 11/25 (火) 秋のキャンペーン企画共有、測定評価⇒他の要素へ

第 3 回 R3 年 2/16 (月) 直接観察基本事項の確認、実践のポイントやコツの共有

*WHO「SAVE LIVES Clean Your Hands」キャンペーンに未登録だが興味があり、
会議に参加してみたいという要望が多く「オブザーバー参加」施設が毎回数施設

- ニュースレターを 3 回発行
- 千葉ネットホームページのコンテンツについて、現在検討中

今後の課題 オブザーバー施設を増やす、属人的になっている現状の改善

【地区活動】

1) 東葛北部地区（東葛北部感染対地域支援ネットワーク：ICoNT）

◇ 高齢者施設対象の感染対策研修会の開催

- 令和 7 年 10 月 18 日(土) 13:30～16:30 松戸商工会議所 大会議室
「あなたの疑問に答えます」
- 事前質問を募り、それに全部回答するという研修会の開催を企画した。

- 開催に関する案内通知は管内に所在する施設法人宛に郵送通知に加え、管轄する保健所（松戸、野田、柏市）に協力依頼し、各保健所等からメール等により行っていただいた。
- 打合会議：3回実施（4月28日、8月29日、9月29日）
- 事前質問は Google Forms により行った。約 70 項目の質問があり、回答案について管内看護師等により検討し作成した。
- 参加状況：44名
- 当日スタッフ：東葛北部地区に所在する病院等の感染管理認定看護師及び感染制御実践看護師 9 名、薬剤師 1 名



- 成果については環境感染学会にエントリー予定
- 事後アンケート結果から（一部）
 - 体制整備、マニュアル作成。現在マニュアルを見直しているため、今後の会議に利用していきたいと思います。
 - まず、自分の質問に資料以外に現在働いている職場での対応を含めて丁寧に答えて頂いたこと。また、マスク着用についても初めて知り、目からウロコでびっくりしました。もう一度資料をはじめ情報を確認します。まだまだ勉強になったことが沢山あります。この様な機会を是非設けて頂きたい、よろしくお願いします。
 - 新型コロナウイルス 5 類になったが対策を間違えると拡大しやすい感染症のため他院の例をあげて講義して下さったので勉強になりました。
 - 疥癬 当院において去年から発症を繰り返しており、講義を受け改めて学ぶ事があり、対策の見直しを検討する必要が出てきたので勉強になりました。

◇ 感染管理認定看護師・感染制御実践看護師のスキルアップ研修会の開催

- 令和 8 年 1 月 31 日（土）14:00～16:00 柏厚生総合病院会議室
- 内容「伝わらなければ意味がない～PowerPoint テクニック～」
- 参加：11名

◇ LINE 相談

地区の感染管理認定看護師・感染制御実践看護師等において LINE 等を利用し、感染管理に関する相談等を相互に行っている。

主な相談・情報共有内容：発熱等感染症症状のある者の、病院のシャトルバス等の使用制限について等

◇ 活動に関する学会発表

- 昨年度実施した高齢者施設向け研修会に関する事業活動報告を、日本環境感染学会において 2 題発表した。発表はポスター発表で「高齢者施設の看護職・介護職双方へ教育する感染対策研修の実際と効果」及び「千葉県東葛北部地区における高齢者施設向け感染症対策研修会の実際」

2) 東葛南部地区

◇ 市川・浦安地域院内感染等対策ネットワーク会議

- 市川保健所管内において、院内感染対策等に関する情報交換会「市川・浦安地域院内感染等対策ネットワーク会議」を 2 回開催
- 参加施設は、市川保健所、市川市医師会、浦安市医師会、感染防止対策加算 1 の 6 施設と、加算 2 および加算 3 の 11 施設、外来加算の 5 施設

- 参加職種は、医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師、保健師

(1) 第1回会議 令和7年11月14日（金）18:00~19:30

開催方法：オンライン（Teams）

主催：国立国際医療研究センター国府台病院、東京ベイ・浦安市川医療センター、
行徳総合病院、国際医療福祉大学市川病院、順天堂大学医学部附属浦安病院

共催：市川保健所、浦安市医師会、市川市医師会

議事：

1) 市川保健所管内における感染症発生状況について

市川保健所（市川健康福祉センター） 疾病対策課より報告

報告者：市川健康福祉センター疾病対策課

- レジオネラ症・麻しん・インフルエンザなど、季節性や流行拡大が懸念される疾患が増加している。
- ダニ媒介感染症は千葉県南部を中心に注意が必要で、死亡例も報告されている。
- 薬剤耐性菌（CRE・VRE）は減少傾向だが、基準改正に伴う届出の変化と遺伝子型確認の継続が重要となっている。
- インフルエンザと新型コロナは施設内集団発生のリスクが高く、引き続き警戒が必要。

2) データレビュー（各施設のデータ、地域・JANISとの比較）

① 耐性菌検出状況と傾向について

- MRSA・3世代セファロ耐性大腸菌：概ね全国平均並み。
- VRE：一部施設で新規検出があり、警戒継続が必要。
- CRE・MDRP・MDRA：散発的で落ち着いた状況。

② アルコール使用状況とMRSA発生率の推移について

- 施設間で使用量の差が大きい。
- 順天堂浦安病院は目標を安定して上回るが、1月の減少理由を確認。

③ 抗菌薬使用状況

- 各施設、重症度に応じた適正使用の範囲内でやりくりしている状況が見られる。
- クリニックでは重症肺炎、重症蜂窩織炎の紹介例が多く、他剤無効でキノロン使用量が増加していると説明。

(2) 第2回会議 令和8年2月6日（金）14:00~16:15

開催方法：対面会議+TeamsによるWeb会議

主催：国立国際医療研究センター国府台病院、東京ベイ・浦安市川医療センター、
行徳総合病院、国際医療福祉大学市川病院、順天堂大学医学部附属浦安病院

共催：市川保健所、浦安市医師会、市川市医師会

出席者：計95名

議事：

1) 市川保健所管内における感染症発生状況について

報告者：市川市健康福祉センター疾病対策課 新井菜央 保健師

- 麻しん（はしか）が、第4週：市川管内で1例、第5週：松戸管内で1例発生

している。公共交通機関の最終利用が、1月22日のため2月12日まで注意が必要。また本日14時に新たな報道発表で、事例1の接触者が麻しんと診断。現在対応中である。全国的には、渡航歴あり（特にインドネシア）が多いが、渡航歴なしの国内発生も増加している。当面麻疹に対する警戒が必要。

- ・ レジオネラ症が、第3週時点の累計8例となり、過去10年で最多。

2) データレビュー（各施設のデータ、地域・JANISとの比較）

① 耐性菌検出状況と傾向について

- ・ VREが上半期に一部の施設で検出されていたが、下半期には新規検出は見られなくなっている。
- ・ その他耐性菌は、特に問題無し。

② アルコール使用状況とMRSA発生率の推移について

- ・ 速乾性手指消毒剤（アルコール・非アルコール含む）の使用量では、感染対策向上加算1の施設は、2025年10月以降、地域目標値を上回っている。2025年12月：21.4 mL/患者日。向上加算2・3の施設も全体として徐々に増加傾向にある。
- ・ 手洗い率向上のための意見として各施設の取組みについて話があり、多職種も含めてICTが週1回観察、朝礼で全職員に徹底、液状からジェル製剤へ変更し使いやすさを改善する等があった。

③ 抗菌薬使用状況

- ・ 地域目標：前年度AUDの1.0倍以内。
- ・ タゾピペ：年間ほぼ横ばい（AUD 2.367、前年比0.98倍）。
- ・ メロペネム：年間で緩やかに増加（AUD 0.909、前年比1.07倍）。
- ・ 抗MRSA薬：年間平均AUDは前年比1.14、使用量は0.94倍に減少。
- ・ キノロン系：横ばい～やや増加。年間平均AUD 0.608（前年比0.69倍で、過去3年で最も低い）。大きな変動はなく、全体として安定。

◇ 新興感染症の発生等を想定した訓練

- ・ 開催日時：2025年2月28日（金）15:00～16:00（訓練）
ネットワーク会議後開催された。
- ・ 開催方法：対面会議+TeamsによるWeb会議
- ・ 開催場所：行徳総合病院 12階講堂
- ・ 内容：シナリオに基づいた机上シミュレーション訓練を提案する。偶発的な疑似症患者が来院した場合のシナリオをもとにグループごとで、受付トリアージから帰宅まで対応の検討を行った。
 - 11施設（加算2・3）を4つのグループに分け、加算1の施設がファシリテーターとなり、トリアージ・PPEの選択・ゾーニング・環境整備について加算2・3の施設と話し合った。
 - 新興感染症への対応として、マニュアルやフローチャートの整備、PPEの使用期限の確認など、今回の訓練で得た学びを自施設に持ち帰り対応を見直すこととした。
 - 良かった点：各施設、コロナ対策の経験をいかしてグループワークが進められ他

施設の取り組みを共有することが出来た。

-今後の課題：今回は机上訓練であったため、次回の訓練では PPE や手指衛生の
手技を確認していく。また、1-2 連携時（ラウンド）に PPE 着脱について確認す
ることも必要である。

3) 印旛・北総地区

◇ 連携病院感染防止対策カンファレンス

感染症対策向上加算 1 の施設とその連携施設を中心として、地域の保健所や、加算
での連携以外の同地区の医療機関も広く含めて、オンラインで情報交換、訓練などが
活発に行われている。また、行政（保健所）主催による感染症対策向上加算 1 施設の
ICN 連携会議や、印旛地域災害・感染症等対策会議も開催されている。

現在の診療報酬の仕組みや行政主導の活動が活性化されてきている中、本地域にお
ける「千葉ネットとしての地域活動」のあり方については、現在「模索中」である。

4) 千葉・市原・君津地区

◇ 連携会議

1) 第 1 回会議：5 月 16 日（金）16 時～17 時

参加医療機関 18 施設 28 名、保健所（千葉市、市原市）7 名の参加により連携会
議を開催した。感染防止対策向上加算 1 を取得する 14 施設で 5 グループを作り、
感染対策相互チェックを行うこととなった。また、加算 2、3 および外来感染対策
向上加算の連携状況を共有した。

2024 年度診療報酬改定に係る確認事項や課題の共有を行った。特に介護報酬の改
定に関係する医療機関との連携の仕組みや第 2 種医療措置協定との関係を確認した。

また、保健所からの情報提供をもとに、麻しんや百日咳などの対応事例について
共有した。

2) 第 2 回会議：9 月 19 日（金）16 時～17 時 30 分

参加医療機関 20 施設 25 名、および保健所（千葉市、市原市）、千葉市役所 11 名
の参加により連携会議を開催した。感染対策向上加算にかかる課題の取り組みにつ
いて意見交換や情報共有を行った。新興感染症患者受け入れ訓練の内容について共
有した。

STSF、COVID-19、麻しん等の疾患に対する患者対応や課題について共有し、意
見交換を行った。

感染対策相互チェックや感染対策向上加算の加算 1, 2, 3, 外来のカンファレン
ス内容について意見交換を行った。

3) 第 3 回会議：12 月 19 日（金）16 時～17 時

参加医療機関 20 施設 28 名、保健所（千葉市、市原市）5 名の参加により連携会
議を開催した。感染対策向上加算に関係する加算 1-1 連携の次年度の連携先につ
いて検討が行われ、次回確定させるための確認作業を各自行うこととなった。

水痘、結核などの疾患に対する患者対応や課題について共有し、意見交換を行った。

千葉市保健所主催の新興感染症患者受け入れ訓練は、10/24（金）に千葉市、
千葉大学病院、市内クリニックで訓練した旨の報告があった。また、市原保健所

と千葉労災病院が主催する新興感染症受け入れ訓練は、12/4（木）に市原市、千葉労災病院で行った旨の報告があった。

4) 第4回会議：2月20日（金）16時～17時

参加医療機関18施設31名、保健所（千葉市、市原市）6名の参加により連携会議を開催した。次年度の加算1-1連携先は第3回の会議で検討した内容に変更なく連携することとなった。

次年度の新興感染症の訓練については、千葉市が千葉医療センターと、市原市が千葉県循環器病センターと合同で行う予定であることが報告された。

千葉市および市原市保健所の情報提供に基づき、麻しん対応について意見交換が行われた。

その他、適時調査や立ち入り調査の内容について情報共有が行われた。

5. その他

1) エイズ拠点病院会議における針刺事項対応に係る検討

- 令和8年2月27日会のエイズ拠点病院会議において、「針刺事故と暴露後予防」を議題として入れ、各部会の共通課題として議論を深めた。

6. ネットワーク参加状況

令和8年2月27日現在

機関参加…225機関（内病院204 ≒70.8%） 個人参加…69名

7. 協議会代表幹事名簿

- 昨年度の代表幹事会において、診療所における感染対策も重要であること、更に診療報酬の感染予防対策について診療所に対する外来加算も新設されたことを受け、医師会からの代表幹事を追加した。

令和8年2月27日現在

氏名	職種	所属	備考（担当地区）
猪狩 英俊	医師	千葉大学医学部附属病院	議長・充職
松本 哲哉	医師	国際医療福祉大学成田病院	充職
戸石 悟司	医師	成田赤十字病院	充職
高柳 晋	医師	松戸市立総合医療センター	（東葛北部）
黒田 文伸	医師	千葉県済生会習志野病院	（東葛南部）
鈴木 由美	医師	独立行政法人国立病院機構 下志津病院	（印旛・北総）
漆原 崇司	医師	国保直営総合病院 君津中央病院	（南総）
瀧口 恭男	医師	千葉市立青葉病院	（千葉・市原）
杉戸 一寿	医師	千葉県習志野健康福祉センター	保健所長会
大野 京子	医師	岩沢医院	医師会
櫻井 真人	歯科医師	さくらい歯科医院	歯科医師会
岡本 剛	薬剤師	東京女子医科大学八千代医療センター	病院薬剤師会
千葉 均	看護師	千葉大学医学部附属病院	ICN ネットワーク CHIBA・充職
阿内 剛	看護師	地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター 東千葉メディカルセンター	ICN ネットワーク CHIBA
高岡 佳代	看護師	帝京大学ちば総合医療センター	ICN ネットワーク CHIBA
里村 秀行	臨床検査技師	千葉県総合救急災害医療センター	臨床検査技師会
柴田 幸治	薬剤師	千葉感染制御研究所	（事務局）

※敬称略

令和8年3月2日

千葉県院内感染対策地域支援ネットワーク（千葉ネット）

協議会議長 猪狩英俊（千葉大学医学部附属病院感染制御部部长）